

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						利用児童数		回収数	
てらびあぼけっと 市が尾教室		2025 年 1 月 20 日						2024 年 11 月 1 日		33件 (回収率80%)	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	2			十分なスペースがあり、気持ちの余裕が生まれる場所だと思います。	限られたスペースの中で、整理整頓に努め、有効利用できるようなしていきま す。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33				・個別なのでマンツーマンでしっかり子 供を見てもらえて安心できる。 ・一人ひとりについて、丁寧に見て下 ざっている。	1対1（先生とお子さま）の個別に行っ ていますので、引き続き、丁寧にサポー トしていきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	31			2		引き続き、お子様の目線に立ち分かりや すくするように努めていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	33				・清潔感がある。 ・とても清潔感があると思 います。	引き続き、お子様が過ごしやすいよう に日々の清掃を丁寧に 行っています。			
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思 いますか。	32			1	・私達親よりも子供の事を理解して丁寧 に関わりをして下さっています。 ・子供の行動に対して理解し対応されて いる。	職員の知識・技術が高まるように、内 部・外部の研修機会を増やしてい きます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思 いますか。	33								
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	32			1	・こちらの話も、きちんと聞いて反映さ れている。 ・十分に理解できているかは、保護者 を含め判断できない。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思 いますか。	29	1		3	・項目の内容が分かりにくいです。 ・その都度カリキュラムをすぐに変更し てもらえるので助 かります。	支援計画が新しくなり、専門的な内容に なっているため、各項目についても分 かりやすく説明をしてい きます。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	33					適時、計画を確認しながら支援を行っ ております。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	28	3		2	・毎回がう支援をして頂いていて、 色々経験できるのがありがたいです。 ・スモールステップで繰り返し行うこ とで身につけていくので、活動が重複 することがあっても特にきにならない。 ・季節に合わせてイベントなど工夫さ れている。	職員間での共有を行って おりますので、継続し てお子様が楽しみなが ら学んで頂けるよう に行っています。また、 小集団での活動も行 っております。			
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	9	2	14	8	・幼稚園に行っているため問題ない です。 ・今のところ交流が無くて不満は ない。 ・SSTを行っている ので、無理に外部の 子どもたちと交流 する場を作らな くても大丈夫だ と思 いま す。 ・現時点では交 流がないと思 うので、いず れそういう機 会があると 良いと思 いま す。				
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧に説明が ありましたか。	32	1			・わかりやすく丁寧な説明があ った。	今後も、分かりやす く説明できるように 努めてい きます。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	33				一つ一つ説明があり、わかりやす かった。	今後も丁寧な説明に 努めてい きます。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われてい ますか。	23	5	3	2	・ペアレントトレーニング等で親が 特性がある子について学ぶ場がも つとあると良いな と思 いま し た。 ・家族支援の時間 が十分に取れて いるので、タイ ムリーに相談し やすく子供の関 わり方について 情報を得る事が できる。	引き続き、園やご 家庭でのご様子や ご相談などが御座 いましたら、随時 ご提案を させて 頂き ます。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解が できていると思 いますか。	32			1	・毎回、情報共有を行 えている。 ・密に情報共有が できており、親の 知らない子供の 良いところを発 見して下さるこ とに、とても感 謝していま す。 ・利用回数と毎 回のフィードバ ックの時間だけ だと伝えきれ ないこともある が、面談の時 間がなかなか 取れない為（こ ちらの都合で す。）	引き続き、フィード バック・家族支援 時にお子様の情報 等を共有させて いただき ます。また、保 護者様からご相 談ごとがあ れば、随時日程 調整をし、時間 を作らせて 頂き ます。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われてい ますか。	33				・こちらの悩みに 対してアドバイ ス等を もらっている。 ・些細なことでも 相談できるの でありが たいです。	引き続き、保護者 様の相談こと等 について、ご 対応させて 頂き ます。			
	17	事業所の職員から共感的に支援を されていると思 いますか。	33				・子どもの成長を 共に感じてく れ て い る。	引き続き、信用・ 信頼を 頂けるよう に努 めて い き ま す。			

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	15	9	・兄弟がいないのでわからない。 ・一人っ子なので兄弟への支援については分からないのですが、保護者同士の交流の場はあっても良いかなと思います。 ・保護者間での交流を求めるばかりではないと思うので不満はない。 ・今のところ特に必要を感じていないので、不満はない。 ・週一回の面談で日々の困りごとをキャッチアップして頂いているため、家族への支援はされていると思います。保護者会・兄弟児への支援は把握していませんが、個別支援が手厚いので行っていないくても問題ないと思います。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30		1	2		ご意見・ご要望をいただいた際には詳細内容を確認し、迅速かつ適切に対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32			1	・しっかりとヒヤリングの時間が取られている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	2		3		引き続き、LINEなど活用しながら、情報発信に努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	4		2	・防災訓練など定期的に行われている。 ・避難訓練は実施されているがその他はよく分からない。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	1		2		避難訓練の実施は、LINE等で引き続き、お知らせをしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32			1	安全の範囲が広い為、どこまで周知確保されているのか分からない。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29			4		事故等がないように職員間で徹底していきます。万が一発生した場合は、速やかに対応を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	33				・場所や先生方にも慣れて安心ができる場所となっている。 ・毎回「てらびあ行く？」と楽しみに通っています。安心できる楽しい場所をありがとうございます。	引き続き、お子さま達が安心して通って頂けるように努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32		1		・毎回、楽しみにしている。 ・もともと場所見知りしませんが、嫌そうにしていたことがないので心地よく過ごしながら学んでいる。 ・てらびあさんでの学びや遊びも大好きなので楽しみに通っています。 ・てらびあ大好きだそうです。	引き続き、お子さま達が楽しく通える環境づくりや療育内容を工夫し、職員一同で楽しい教室を作っていきたいと思っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	1			・いつも親身になってくださり、相談したことなど、すぐに取り入れてくださるので安心感と感謝でいっぱいです。 ・成長を共に喜んでくれ、本当にこちらに通って良かったと感謝している。 ・知識と優しいいっぱいの先生方のおかげで親子共々、毎回楽しく通うことができています。また通い始めた頃より見違えるように成長しました。卒業する年長まで通います。いつも本当に有難うございます。	今度も満足して頂けるように、お子様や保護者様に寄り添う支援に取り組み、お子様のサポートを全力で行っていきます。引き続き、宜しく願い申し上げます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
てらびあぼけっと市が尾教室		2025 年 1 月 20 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		怪我がないように十分配慮し、整理整頓をすることで活動スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		室内でのルール等について視覚化したものを掲示し、具体的に分かりやすいように提示しています。	改善が必要だと思えるところは職員間で話し合い創意工夫を凝らしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日決まった時間に使用した玩具や机など消毒および清掃をし、整理整頓をしています。	継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	決められた時間に目標設定＋振り返りの時間をつくっています。	ミーティング時はもちろん、個人に対しても徹底して共有をしています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員間で共有し、話し合いのうえ、業務改善に繋げています。	ミーティング時はもちろん、個人に対しても徹底して共有をしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		何かあれば随時面談する体制を整えていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	年に1回、本部SVによる内部監査を受けている。	継続していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	本部研修や外部研修に参加している。	時間の捻出が難しい時がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		日々の支援やアンケート、モニタリングを参考に作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		5ヶ月に1度モニタリングを実施し、分析をしたうえで、方向性を一緒に考えています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・カンファレンスの際、意見を出し合い、話し合いを行っている。 ・日々の振り返りで共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員間で共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・ガイドラインを遵守しています。 ・外部研修を受けています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・管理者及び児発管や担当間で、必要な場合は行っています。	ブラグラスの構成については、管理者や児発管のほか、年代別のリーダーを決め、全体に共有できるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員間で意見を出し合い行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		小集団活動（ゲームや制作など）を取り入れ行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼にて確認をし、共有をしています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼にて振り返り（情報）をし、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		日々のデータを記録し、次に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	サービス担当者会議に参加したことがあるので、今後も必要であれば積極的に参加していきます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	幼保との関係機関連携を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	保護者からの要望がある場合、保護者と共有し作成しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8		必要に応じて行ってます。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		家族支援を実施しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		内部・外部研修に参加し、職員間の質の向上に努めていきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		定期的にお便りを発行し、日々の活動内容のご様子や連絡事項を掲載しています。また、LINEでもお知らせしています。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報等は鍵付きの書庫で保管し、関係者以外が触れないようにしています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	定期的に訓練を実施しています。	定期的にミーティング等で、全体に共有していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			定期的にミーティング等で、全体に共有していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		避難訓練の様子を写真でみてもらい、口頭にて伝えています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・社内研修や外部研修を行っています。 ・ミーティングで、研修の内容の振り返り等を行い、全体に共有しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	契約時に説明しています。	

公表

事業所における自己評価総括表

公表日：2025 年 1 月 20 日

○事業所名	てらびあぼけつと市が尾教室			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日 ～ 2024年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 5 人 (うち兄弟4名)	(回答者数)	3 3 人
○従業者評価実施期間	2024年11月15日 ～ 2024年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8 人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育だけではなく、小集団での活動にも力を入れている。	児童一人ひとりのニーズに合わせて、スモールステップにてお子様のプログラムを作成し、1対1（先生対お子様）での個別・小集団での支援を行っています。また、年長児童は就学に向けた環境も取り入れています。	児童についての情報共有を徹底し、活動内容（プログラム）がマンネリ化しないよう、意見交換を行い工夫をしていく。
2	幼保園等の関係機関へお伺いし、園との連携を図り、支援が強化できるよう努めている。	保護者様のご要望により、幼保園訪問を行っています。幼保園でのお子様のご様子や園の先生との情報交換を行い、プログラムに取り入れています。また、職員間で共有し、お子様の内容を把握しています。	知り得た情報を活かし般化していく。また、ABAを活かした療育を提供し、支援の充実を図る。
3	家族支援を丁寧に行っている。	保護者から家庭や園での様子などをヒヤリングし、その内容を職員間で共有・相談し、支援に繋げられるよう努めている。また、ペアトレや面談も提案している。	内部・外部の研修に参加し、職員全員が知見を深めていき、スキル向上を目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士による交流会等が開催できていない。	個別療育のため、仕組みづくりが困難であり、人員や時間的余裕がない。また、望まない保護者もいる。	実施可能な方法を検討・模索していく。
2	地域交流が出来ていない。	相談支援事業所などの関係機関との連携がない。	幼保園等の関係機関については、保護者のご希望により、その都度対応している。
3			